



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 保木 潤一
 (氏名) 高橋 一夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300
 平成23年8月31日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,838	1.7	2,188	1.1	2,193	3.4	1,320	4.8
23年3月期第1四半期	7,705	△1.4	2,164	9.1	2,120	7.0	1,260	6.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,382百万円 (14.3%) 23年3月期第1四半期 1,209百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	83.94	—
23年3月期第1四半期	80.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	70,131	61,678	87.9	3,920.50
23年3月期	69,834	60,698	86.9	3,857.83

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 61,670百万円 23年3月期 60,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	25.00	25.00	25.00	25.00	100.00
24年3月期	20.00				
24年3月期(予想)		20.00	20.00	20.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,390	△1.7	3,500	△18.5	3,548	△15.7	2,141	△15.0	136.11
通期	30,700	△2.0	6,900	△19.8	6,970	△18.6	4,200	△5.7	267.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	16,341,155 株	23年3月期	16,341,155 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	611,015 株	23年3月期	610,955 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	15,730,180 株	23年3月期1Q	15,730,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞や夏場の電力不足問題等の不安定化が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当医療機器業界におきましては、昨年診療報酬がプラス改定になりましたものの、引き続き厳しい経営環境が続いており、各企業はより一層の経営の効率化・合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では、東日本大震災により生産設備に一部損傷を受け、製品の生産・出荷に支障をきたしました。これに加え、材料の供給不足及び地震発生に起因する一時的な需要の増加等の影響もあり生産遅延が発生し、お客様にご迷惑をお掛けいたしました。当社では、製品の安定供給を第一と考え、稼働時間の延長及び増員等を行いました。全社で復旧に総力を上げ取り組んだ結果、生産設備は5月上旬にすべて復旧し、遅延していました製品の供給は6月上旬に解消いたしました。また、営業活動は生産遅延対応が中心となりましたが、状況が改善されたことにより通常の営業体制に戻しました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は7,838百万円(前年同期比1.7%増)となりました。このうち、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」を中心に、手術用品類の医療用キット製品の売上高は3,698百万円(同5.2%増)と伸ばいたしました。なお、「オペラマスター」につきましては、上記生産遅延対応の影響もあり、当第1四半期連結累計期間において3件の医療機関と契約を締結する一方、4件の解約があり累計契約件数は130件となりました。また、手術用品類の医療用不織布製品は、一時的な需要の増加とその後の反動があり需要の変動が激しかったものの、前年度並みの売上高2,729百万円(同0.3%減)となりました。

売上原価は、償却費の増加がありました。しかし、当第1四半期連結累計期間においては、生産遅延及び一時的な受注増加を解消するため増産を行った結果、生産量増加による生産性の改善等により原価率は前年同期に比べ改善いたしました。販売費及び一般管理費は生産遅延対応のための見本費と試験研究費の増加等があり前年より増加いたしました。その結果、連結営業利益は2,188百万円(同1.1%増)となりました。連結経常利益は2,193百万円(同3.4%増)、連結四半期純利益は1,320百万円(同4.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は70,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円増加いたしました。流動資産は34,119百万円となり、606百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加400百万円、棚卸資産の増加319百万円となります。固定資産は36,012百万円となり308百万円減少いたしました。うち有形固定資産は31,078百万円となり440百万円減少いたしました。機械装置及び運搬具7,552百万円のうち、筑波滅菌センター増築分の製造設備増設として3,613百万円増加しております。また、無形固定資産は1,059百万円となり171百万円増加し、投資その他の資産は3,874百万円となり大きな変動はありませんでした。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は8,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ682百万円減少いたしました。流動負債は7,570百万円となり752百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の674百万円の減少、賞与引当金の267百万円の減少となります。固定負債は883百万円となり、69百万円増加いたしました。なお、有利子負債残高は前期末より425百万円減少し500百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は61,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ980百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益1,320百万円の計上による増加、剰余金の配当による393百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から87.9%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより18,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を2,193百万円、減価償却費を642百万円計上いたしました。一方、法人税等の支払い1,259百万円、売上債権の増加392百万円等がありました。この結果、キャッシュ・フローは1,344百万円の収入となり、前年同期に比べ710百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に筑波滅菌センター増設関連の有形固定資産の取得等により408百万円の支出となり、前年同期に比べ529百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等がありました。この結果、817百万円の支出となり、前年同期に比べ31百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、業績を反映し約5,100百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備入替により約2,000百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いや借入金の返済等により約2,200百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や夏場の電力不足問題等により、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

当企業集団におきましても、設備の復旧・生産遅延の解消は終わりましたものの、依然として需要の動向は見通しにくい状況が続いております。そのような中で当社は、「医療の現場に貢献する製品」をコンセプトとした製品開発を進めるとともに、6月より再開いたしました営業活動をより積極的にを行い、「オペラマスター戦略」、そして「サーレム戦略」を果敢に推進してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	30,700 百万円	(前期比 2.0%減)
営 業 利 益	6,900 百万円	(前期比 19.8%減)
経 常 利 益	6,970 百万円	(前期比 18.6%減)
当 期 純 利 益	4,200 百万円	(前期比 5.7%減)

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸高については前連結会計年度末の实地棚卸高を基礎とする方法で算定し、また収益性の低下が明確なものについてのみ見積正味売却価額まで切下げる方法によっております。

② 法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,505	18,648
受取手形及び売掛金	9,091	9,492
商品及び製品	2,570	3,098
仕掛品	288	330
原材料及び貯蔵品	2,083	1,833
その他	977	721
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	33,513	34,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,302	13,129
機械装置及び運搬具（純額）	4,219	7,552
土地	9,375	9,382
建設仮勘定	4,283	662
その他（純額）	337	351
有形固定資産合計	31,518	31,078
無形固定資産	888	1,059
投資その他の資産	3,913	3,874
固定資産合計	36,320	36,012
資産合計	69,834	70,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	3,561
1年内返済予定の長期借入金	925	500
未払法人税等	1,576	902
引当金	1,188	806
その他	1,294	1,800
流動負債合計	8,322	7,570
固定負債		
引当金	44	68
その他	768	814
固定負債合計	813	883
負債合計	9,135	8,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	49,510	50,437
自己株式	△3,316	△3,316
株主資本合計	61,653	62,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	74
繰延ヘッジ損益	9	△53
為替換算調整勘定	△1,055	△931
その他の包括利益累計額合計	△968	△909
少数株主持分	13	8
純資産合計	60,698	61,678
負債純資産合計	69,834	70,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,705	7,838
売上原価	3,678	3,643
売上総利益	4,026	4,194
販売費及び一般管理費	1,862	2,006
営業利益	2,164	2,188
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	25
その他	9	11
営業外収益合計	38	37
営業外費用		
支払利息	6	2
為替差損	75	30
その他	0	0
営業外費用合計	82	33
経常利益	2,120	2,193
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7	—
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産廃棄損	2	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
特別損失合計	35	0
税金等調整前四半期純利益	2,092	2,193
法人税等	832	872
少数株主損益調整前四半期純利益	1,260	1,320
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,260	1,320

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,260	1,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	△3
繰延ヘッジ損益	△76	△62
為替換算調整勘定	127	127
その他の包括利益合計	△50	61
四半期包括利益	1,209	1,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,208	1,379
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,092	2,193
減価償却費	574	642
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	0
受取利息及び受取配当金	△28	△26
支払利息	6	2
為替差損益(△は益)	87	32
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△374	△392
たな卸資産の増減額(△は増加)	230	△299
仕入債務の増減額(△は減少)	△213	218
その他	134	210
小計	2,529	2,582
利息及び配当金の受取額	28	26
利息の支払額	△10	△4
法人税等の支払額	△1,913	△1,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	633	1,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△731	△304
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△75	—
関係会社株式の取得による支出	—	△8
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	11	1
その他	△142	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△938	△408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△425	△425
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△360	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△786	△817
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,092	143
現金及び現金同等物の期首残高	17,405	18,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,312	18,282

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。